

令和4年度 コミュニティから「市政へのご提言」

垂水 コミュニティ

<p>提言項目①</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の原因の検証と情報公開</p>
<p>提言理由・内容</p>	<p>今回のコロナ禍、香川県も例外にもれず、1日何百人もの感染拡大となった。丸亀市も高松市に次ぐ人口を有しているため、感染者が多かった。</p> <p>今回の市内の感染拡大の原因を関係者で十分検証して、今後の可能な再発防止策に役立てていただきたい。その検証結果を、市民にも情報公開していただきたい。</p>
<p>回答</p>	<p>全国的に新型のコロナウイルス新規感染者数は現在高止まりの状態にあり、香川県も同様の状況です。香川県では「感染拡大防止対策期」の中において、「BA.5 対策強化宣言」を行い基本的な感染対策や感染リスクを低減させる適切な対策の徹底により、社会経済活動の維持との両立を図れるよう取り組んでおります。丸亀市におきましては、ワクチン接種の推進及び感染予防について周知・啓発し、市民の方が安心して生活が送れるように努めているところです。感染拡大の再発防止につきましては、県内の感染状況（感染経路、感染者の年齢、クラスターの発生状況等）を確認しながら、県と連携し取り組んでいきたいと考えております。また、丸亀市の感染状況については市のホームページに掲載しておりますのでご確認いただければと思います。今後も新型コロナウイルス感染拡大防止に努めてまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
<p>提言項目②</p>	<p>押しボタン信号のボタンの設置場所に関する要望</p>
<p>提言理由・内容</p>	<p>県道22号線（善通寺・綾歌線）の「ヘアーサロン宮武」前の交差点の押しボタン信号は、交差点の東側の横断歩道に設置されています。したがって、自転車で垂水町方面から丸亀市内方面に通学する中学生が県道を横断するときは、交差点前で一旦自転車を市道の左側に止め、歩いて市道を横断し、押しボタン信号のボタンを押して、また自転車に戻らなくてはなりません。</p> <p>通学時間帯はクルマも多く通行しており、しかも市道側は1車線と道幅も狭いため自転車を止めておくのは危険であり、自転車を押して県道側にあるボタンまで行くのはもっと危険です。（実際に事故が発生しています。）子どもたちが安心して県道を横断することができるよう、（例えば、ボタンだけでも交差点の西側に増設するなど）安全対策の検討及び実施を要望します。</p>
<p>回答</p>	<p>今回のご要望を受け、信号の設置・管理を行っている丸亀警察署に問合せましたところ、「押しボタン信号のボタンのみの増設は行っておら</p>

ず、当該交差点に信号を設置するには幅員が狭いため設置することは難しい。また、交差点直近でボタンを押すために東側に横断する場合は、曲がってくる車に巻き込まれるなど危険が高まるため、交差点よりもっと手前で東側に横断し、道路の右側を自転車を押して通行し、押しボタンを押して横断することが望ましい。」という回答を受けました。

当該交差点については、すでに中讃土木事務所や市建設課において、外側線の引き直しやドライバーに対する注意標記等ハード面の対策をできる限り行っておりますが、物理的に交差点の拡幅が難しい箇所です。ソフト面の対策として、市としましても引き続ききめ細やかな啓発活動を根気強く続け、交通ルールの順守とマナー向上の取り組みに努めたいと思います。